

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館（さよう文化情報センター内）  
〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地  
Tel：0790-82-0874 Fax：0790-82-0313 E-Mail：toshokan@town.sayo.lg.jp

## 『校閲至極』

毎日新聞校閲センター／著  
(毎日新聞出版) 2023年

## Book Review

図書館司書おすすめの一冊



本書は毎日新聞の校閲記者が、月1回、持ち回りで雑誌に執筆した「校閲」についての連載コラム74編を書籍化したものである。

「校閲」とは、原稿の文章や地図、写真などを一つひとつ調べて間違っている部分を修正し、よしになったら読者に届ける門番のような仕事だという。

ある殺人事件の公判原稿の校閲では、「被告は殺害に関与しておらず、死因は病死だと反論した」という文章で手を止める。まだ殺人事件と確定していないし、病死と主張する文脈で「殺害」は矛盾しているのではないかと考え、渋るデスクに「推定無罪ですよ」と異議を唱えて、「死亡に関与」と修正が果たされた。

また、夕刊締め切り間際に届いた調査捕鯨船の記事の校閲では、事実関係を調べる時間が限られており、素読みでチェックして校了。数分後、紙面を印刷工程に降ろすが、ネットで検索すると調査団長の名前が間違いであることが判明し、出稿元に事実確認をしてなんとか輪転機が回るまでに修正を行ったという。

他にも、空耳ならぬ空目がおこりやすいカタカナ語の落とし穴や、誤りやすい表現や慣用句、数字の誤記など、様々なテーマで校閲が綴られている。より適切な言葉で誤りのない情報を届けようと、日々原稿と向き合い奮闘している校閲現場の記者たちの様子が伝わるとともに、校閲の難しさや重要性が感じられる。(尾崎)

## お知らせ

図書館と法務局との協力事業

### 法務局職員による 教養講座と個別相談会

令和6年4月から相続登記の申請義務化が施行されます。この制度や遺言書保管制度についての説明と個別相談会を開催。

(関連本を図書館内で展示します)

#### ●教養講座

日時：12月7日(木) 10:30～12:00  
場所：さよう文化情報センター会議室  
講師：神戸地方方法務局龍野支局職員

#### ●個別相談会

日時：12月14日(木)、15日(金)  
両日も 10:00～13:00  
場所：さよう文化情報センター会議室  
相談：1組30分以内、1日あたり6組  
定員12組(先着順)  
法務局職員による個別相談

## 11月 霜月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○印…おはなし会14:00～

●印…おはなし会10:30～、11:00～

■印…わらべうたと絵本の会10:30～

■色の日は休館日です。

開館時間／午前10時から午後6時

## 12月 師走

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6

※館内整理日による休館

11月30日(木)

※祝日による休館

11月 7日(火) ← 11/3開館の振替

11月23日(木)

※年末年始休館

12月28日(木)～1月4日(木)

## Book Review

図書館司書おすすめの一冊

◆としょかんの電話 82-0874

## 『くまのコールテンくん』

ドン=フリーマン/さく  
まつおか きょうこ/やく  
(偕成社) 1975年



くまのぬいぐるみのコールテンくんは、デパートのおもちゃ売り場で、だれか早く自分を家につれて行って欲しかった。

かなと毎日思っていました。

ある日、女の子が家につれて帰りたいと言ってくれましたが、お母さんが、ズボンのボタンが取れて新品じゃないみたいと行ってしまいました。夜になりコールテンくんは、ボタンを探しはじめました。家具売り場の大きなベッドの上で小さなボタンを見つけ、つまみあげようとしたがマットレスにくっついて離れません。両手で力いっぱい引っ張ると勢いよくボタンはとれ、コールテンくんはひっくり返り、電気スタンドをたおしてしまいました。大きな音を聞いてかけつけた警備員にコールテンくんは見つけられ、もとの棚にもどされました。次の日、昨日の女の子が自分の貯金箱のお金を持って来て、コールテンくんを家につれて行ってくれました。

急に動き出したエレベーターに驚き、山かなと考えたり、大きなベッドが並んだ家具売り場を御殿だと言ったり、好奇心旺盛にボタンを探すコールテンくんが表情豊かに描かれ魅力的です。女の子にボタンを直してもらい抱きしめられている満足げな様子に笑みがこぼれます。(馬場)

## ★あそばせ隊 おはなし会

毎週土曜日/14:00~14:30  
幼児・小学生対象

おはなし会



## ★図書館 おはなし会 毎週日曜日

○小さい人(5歳以上)/10:30~11:00  
11月のおはなし『ホレおばさん』

○大きい人(小学3年生以上)/11:00~11:30  
11月のおはなし『妖精の丘が燃えている』

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要

## 『小さな山神スズナ姫』

富安 陽子/作  
飯野 和好/絵  
(偕成社) 1996年



数々の山を治める山神、大巖尊(おおいわのみこと)の一人娘スズナ姫は、もうすぐ300才。すみかの喜仙峰(きせんみね)の雲の御殿で毎屈する番ばかりして、退屈で仕方ありません。

スズナ姫は、自分の名前の由来になったスズナ山を一目見た時から、ひとり立ちしてスズナ山の山神になりたいと願っていました。ある日、大巖尊は山神の仕事の一つ、木の葉ぞめを一日でやり遂げたら一人前と認めようと約束してくれました。スズナ姫は天ノスズシロ(白い雲)に乗ってスズナ山を目指し、キツネたちに手伝ってもらおうとキツネの大將モッコウギツネと会いますが、キツネは大巖尊とけんかをして腹ペコののろいをかけられ、木の葉ぞめに必要な天閻壺(あまつやみのつぼ)もとりあげられていました。古柏(ふるがしわ)の大フクロウに知恵をかり、ヒデリコの壺を三つ作り、スズナ姫はむずかしい術でみごとな虹を空にかけました。キツネ部隊は大急ぎで虹の橋のねもとへヒデリコ壺を運び、アカネ、ダイダイ、コガネと絵の具を壺いっぱい集め、高く空にはね上がると壺にしっぽをひたし、山じゅうにちらばり葉をそめていきました。

まっ黒なおかっぱ髪をゆらし、父に認められたい一心で山神の仕事をもっとうしようと一生懸命に働き、木の葉ぞめにチャレンジする様子が生き生きと描かれています。虹の絵具によって紅葉していく自然描写は美しく、勇気と実行力に満ちたスズナ姫が魅力的です。(水鳥)

information

## 作家 柚月裕子トークショー

長編ミステリーが出来るまで - 犯罪小説『教誨』をテキストに -

とき: 11月26日(日) 13:30~15:00

ところ: さよう文化情報センター ホール

入場: 無料(要申込)

サイン会: 先着30名、受付12:30~

※トークショー終了後会場で著者の本を購入した方

## ★年末特別貸出★ (12/14~12/27)

年末年始休館のため、上記期間中は貸出冊数の上限をなくし、返却期限を3週間とします。